リレートーク #164

紹介者
火浦 俊彦
ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド
マネージング パートナー

ソーシャル・ネットワークが日本を変える

矢原 史朗
ベルシステム24
執行役社長

まず、3月11日の東日本大地震で被災された方々、そしてそのご家族には、心よりお見舞い申し上げます。この文章が読まれるころには、避難生活を余儀なくされている方々が、少なくとも今以上に安心して安全な生活を送られていることを、そして日本経済がより安定した方向に一歩一歩向かって自信を取り戻していることを祈りつつ、今年になってから感じていることを書かせていただきます。

「ソーシャル・ネットワーク」が私の周りでも急速に拡大している。Twitter や facebook などがその代表である。かくいう私も今年になってから facebook を恐る恐る使い始めてみたが、始めてみるとこれが結構楽しい。友達の友達はまた友達だ、というふうに次から次へとネットワーク（＝友達の輪）が増えていく。参加者が見聞きして感じた生の情報がリアルタイムでネット上を飛び交う。情報は文字だけではなく、画像や動画もリンクを張れば簡単に自由に広がる。中には思わず「その通り」と感じて「いいね！」ボタンを押してしまうコメントも少なくない。また、意外な共通の知り合いがいることに驚いたりすることもある。当然ながらネットワークは国境をも簡単に越えてしまう。ものすごいスピードと情報量に圧倒されるが、仕事の話よりは普段着の会話やコメントが主体なので疲れるというよりもむしろ面白いし、実はビジネスのヒントになる情報も多い。

それでもやっぱり最後は対面で目を見ながら、生の声を聞きながら対話をすることに勝るものはない。できればソーシャル・ネットワークで久しぶりに対話をした旧友と共に、ゆっくりとお酒でも飲みながら昔話に花を咲かせたり、将来の夢を語り合いたいと思う。どうやら私はアナログ人間から抜け出せないようだ。ただし隠れたおいしいお店を友達のお勧め情報の中から探し出すなど、この facebook のメリットはアナログ人間でもしっかりと享受させてもらっている。

「対話の力で世界を変える」……コンタクトセンターという業態の当社は社是を今年刷新したが、まさにソーシャル・ネットワークという新しい対話の形が、世の中の変化を加速しているように思う。

（2011年3月執筆）

次回リレートーク：昆 政彦（住友スリーエム 取締役）